

本日の資料：携帯電話で撮影してください



# 治す医療から支える医療へ

住み慣れたまちで過ごす

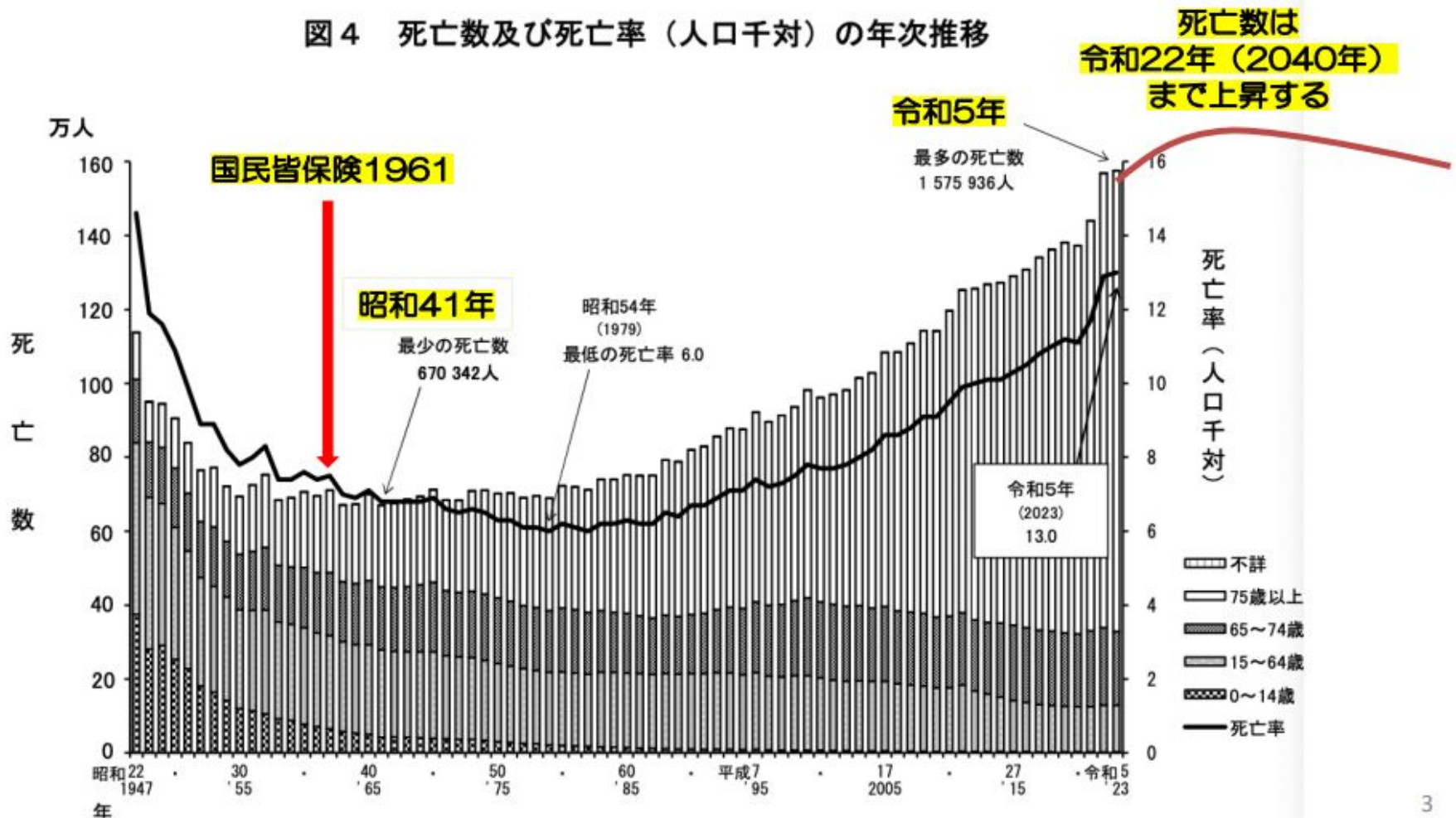
---

強化型在宅支援診療所

医療法人 **おうちにかえろう会** まつおクリニック  
理事長・院長・医療情報技師・診療情報管理士

松尾 勝一

図4 死亡数及び死亡率（人口千対）の年次推移



75歳以上の後期高齢者の死亡率は総死亡者数の87%になる

人間の老化は20歳から始まると言われている

80才を越すと人生の終焉を迎えるのだが、  
高齢化のために「治らない人」が増加する、でも老化現象は治せない。

歩行困難・食事摂取困難な身体障害者の比率が高まる。

がんの発生率は高まるので、  
治すことができないがん患者さんの増加を引き起こす。



高齢社会は「治らない人の集団の社会」となる。  
治らない人には何ができるだろう？ 支える医療である。



治す医療から支える医療への大転換が2025年に向けた医療体制である。

『治らなくても生きていける生活』

そのために、2000年に介護保険が導入された



# 例えば



- 88歳 女性 病名は胃がん
- 4年前に大病院で手術を受けたが再発して自宅で加療中
- 夫93歳とふたり暮らし、 2人の息子は関東と関西に住んでいる
- 家事はなんとかできている。痛みは少しある
- 本人は自宅で過ごしたいし、家事をしたいと希望される

医療保険

週末には交互に息子さんが来福

昔暮らした家族で小さな旅行

終末期には介護休暇で看取り

治療担当医師

化学療法の中止・再発など

精神的苦痛

地域連携室

訪問診療 緩和ケア担当医師

初診

往診

訪問看護

訪問薬剤師

がん性疼痛緩和

普段の生活を支える

在宅酸素  
自己注射インスリン  
傷・褥瘡の手当て  
在宅人工呼吸器  
検査、注射、処置

看取り

精神的苦痛

葬儀・通夜に参列してグリーンケアを行う

希望に沿った  
選択をする

ご家族によるケア  
いつものように過ごしていただく  
介護する夫をケア（息子・嫁）

家事や介護を支えていただく

ケアマネ

ヘルパー

リハビリ

栄養士



介護保険（ケアマネージャー）

24時間365日の体制 安心して自宅療養が出来るように 医療と介護の連携

## まつおクリニックの理念

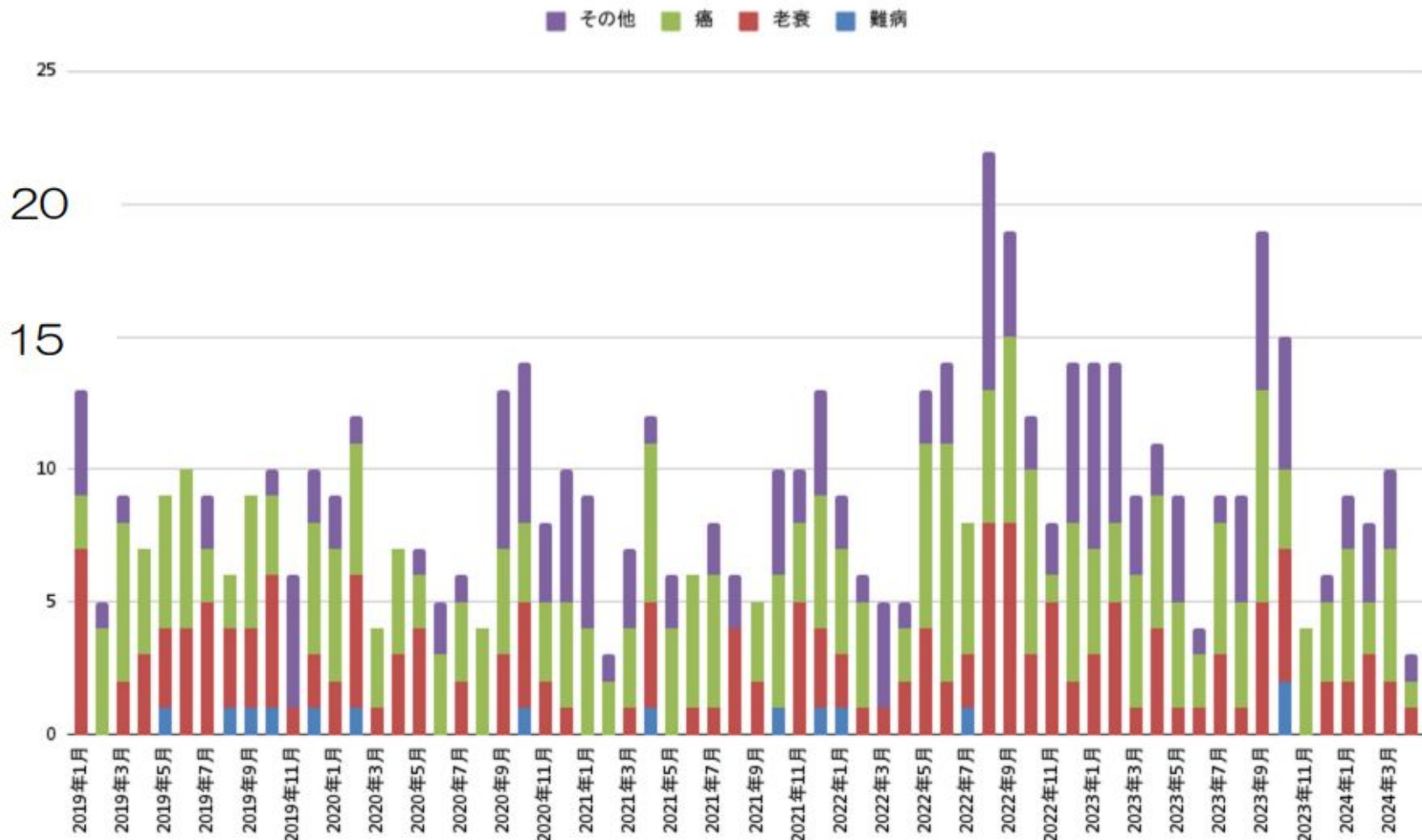
1. 安心して最後を迎えることができる  
こころと体の苦痛を和らげる医療を行います。
2. 自宅や施設で過ごしたいという気持ちを  
支援するケアを行います。
3. 看護、介護するご家族に寄り添ったサポートを行います。

電話 092-833-0333



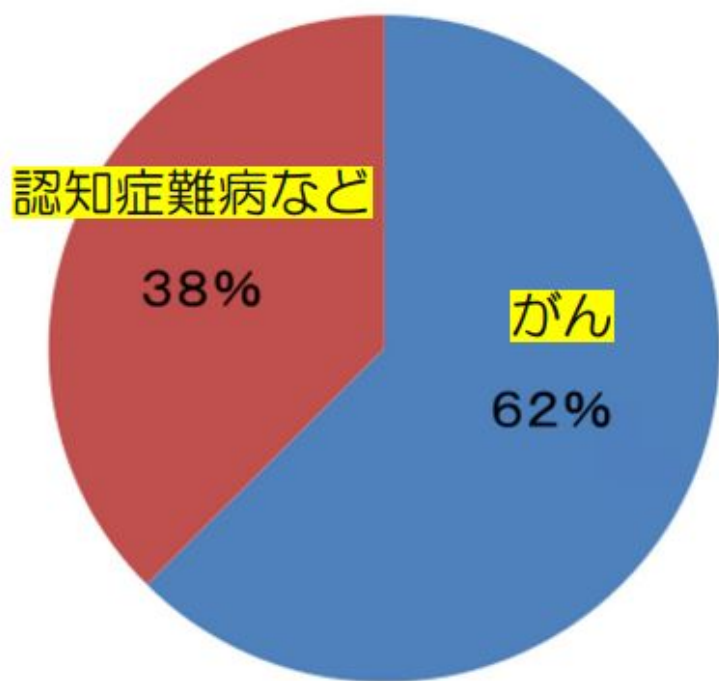
# 1009人/10年の看取り

■月別看取り数 (2019年1月~2024年3月) 584件/62ヶ月 月9.4件



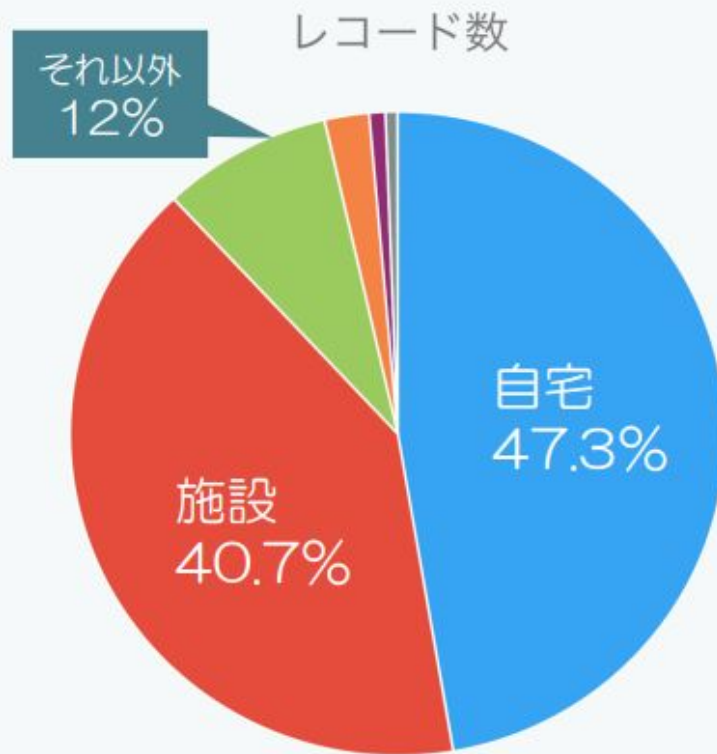


## ■ 当院での看取りの病名



■ がん  
■ 非がん

## ■ 看取りの場所



■ 自宅 ■ 施設 ■ 病院 緩和ケア以外  
■ 病院 緩和ケア ■ その他 ■ 特老

## まとめ

- ① 日本は1961年から国民皆保険、  
2000年から介護保険も相互扶助です。
- ② リスボン宣言（1981年にポルトガル）  
「**患者の権利**保護」「医師を選ぶ権利」  
「十分な説明を受ける権利」「尊厳死の権利」
- ③ がん対策基本法 2006年6月23日  
すべてのがん患者及びその**家族の苦痛**の軽減  
並びに療養生活の質の維持向上
- ④ 病院と比べ、在宅での医療は多事業者連携である。選択肢も多い  
一般人にはわかりにくい
- ⑤ 在宅の向く患者さんの言葉  
「医者看護師さんは好きだけど病院は嫌い」
- ⑥ 「亡くなることが不安で怖い」家族や介護者が  
不安であるのは当然のこと、家族に同意する。